SANTANOL

PURE ETHICAL SANDALWOOD

サンタノールの持続可能性のストーリー

サンダルウッド（白檀）

サンダルウッドとその貴重なオイルは、世界で最も古く、最も価値のある天然資源のひとつとして、古い歴史を持っています。別名「聖なる木」とも呼ばれ、古代から近代までの様々な文化や宗教の儀式に欠かせないもので、サンダルウッドのお香は亡くなった人の罪を洗い流す儀式使われていたことでも知られています。

この貴重な素材はホリスティック医学において、包括的な治癒能力や自ら心を開いて身体のバランス感覚を高めることでも知られています。また、ソフトでクリーミーな木の香りは、フレグランスの世界でも欠かせない成分です。

サンダルウッドオイルの需要が白檀の種を絶滅させかねない状況の中、サンタノールはピュアでエシカルな**サンダルウッド**を提供することを目的として設立されました。こうして当社は、高品質の原料を育てながら自然を守り、長期的に持続可能な供給を確保するバランスを見つけたと信じています。

サンタノール：ピュア・エシカル・サンダルウッド

当社の東インド産サンダルウッド（Santalum album）は、西オーストラリア州のカナナラとクイーンズランド州のゴールドタインの間にある2400ヘクタールを超えるプランテーションで栽培されています。白檀の木を育てるには、最低でも15年という長期にわたる成育期間が必要です。木材のごく一部は、西オーストラリア州の追跡可能で倫理的なプランテーションや管理されたドメイン、あるいはパブリックオークションから調達しています。その中には、カナナラにあるサンタノール社以外のプランテーションや、世界各地の適格な調達先も含まれていますが、これらはすべて、適用される法律や規制を遵守し、地元の持続可能な森林計画に従ったものです。将来的には、自社植林地の木材を100%持続的に使用することを目標としています。

サンタノールが調達した木材はすべて、カナナラにある当社の一次加工センターで木材チップに加工された後、パースで蒸留されます。サンタノールが独自に蒸留したオイルを提供することで、サプライチェーン全体でのトレーサビリティーを確保しています。母なる大地の恵みである土壌やすべての天然資源を大切にすることは、当社の日常業務の一環です。このプランテーションは会社の中枢部であり、つまりプランテーションの維持と生物多様性の長期的な管理は、当社にとって非常に重要です。そのため、当社はISO14001:2015環境マネジメントシステムの認証とCOSMOS Ecocertの承認を受けています。

すべての
ものにはバランスが
必要です。
サンタノールは
地域の野生生物と
生物多様性の
保護と支援に
取り組んでいます。

サンダルウッドの若い植林地に生息するワラビー
¥¥　カナナラ

生物多様性の保護

すべてのものにはバランスが必要で、サンタノールはこの地域の野生生物と生物多様性の保護と支援に取り組んでいます。当社のサンダルウッドが育っている地域は、サバンナの森林地帯に囲まれており、雨季にはモンスーンの雨が降ります。当社は、厳しい環境下で生きる野生動物たちに、生息地や食料、保護を提供しています。

この灌漑システムは人工的に作られたものですが、西オーストラリアで最も有名なワラビーやクロコダイルなどの野生動物を引き寄せる生態系を作り出しています。

当社は独自の苗床を持ち、そこではサンタルム・アルバムとその宿主植物の苗が育てられています。サンタルムは半寄生木で、生き延びるためには複数の宿主木を必要とします。サンダルウッドの根は宿主の木の根系につながっているので、適切な養分を吸収できます。このようにして、植林地でのモノカルチャー化も同時に回避しています。

毎回の収穫後、最低でも1年間は土地を休ませ、土壌を回復させます。

イノベーションに向けての努力

1990年代後半、オーストラリア政府はこの地域でのサンダルウッド・プランテーションの受け入れを検討し始めました。　長年にわたり、カナナラにある研究開発センターの支援を受け、当社はサンダルウッドがオーストラリアの気候条件に適応し、生育するための方法を開発してきました。研究開発センターでは、最高品質の木を育てるために、資源を最も効率的に使う新たな方法を継続的に開発しています。

まず最も「エリート」の木の種を集めて、**採種園**を作りました。これにより、この**採種園**から最も健康で多様な種子を厳選して植え付けられるようになり、供給を管理しながら、数年かけてサンダルウッドのオイルの品質と収穫量を改善しました。

健全な土壌の確保と効率的な水の利用

カナナラは亜熱帯気候に属しています。雨季の間、プランテーションは自然に灌漑されます。年間を通して安定した灌漑を行うために、近くにあるオード川ダムには集水域があり、雨季にそこに水を溜め、それ以外の季節には水路を通して灌漑を行っています。つまりサンタノールは、精巧なポンプシステムを動かすための余分なエネルギーや資源を必要としません。4～6週間に一度、この水路を利用してプランテーションに灌漑を行います。洪水を利用した灌漑では、木は必要な分だけ水を吸収し、残りの水が集められ、下流の生息地を灌漑します。このダムは、カナナラのオード・バレーに必要な水を供給できます。また当社は水が効率的に使用されるように、水の土壌プローブや樹木の樹液流量計を使ったさまざまな技術を開発しました。

窒素は植物の成長に欠かせない栄養素で、従来は肥料の形で添加されていました。サンダルウッドの木には、それを維持するための宿主の木が必要です。宿主の選定では、空気中から窒素を抽出して根系から供給する能力を持つマメ科の種の利用に着目しました。このようにして、プランテーションは自然に窒素を吸収できます

樹木が土壌から栄養分を得て、それを葉や枝などの有機物として、あるいは敷地内に残っているホストツリーから還元して、継続的な栄養サイクルを実現しています。

当社は、剪定や自然の土壌生物学、微生物との共生による病気への耐性など、木の健全な成長をサポートするために自然なアプローチを選択しています。最近の取り組みとしては、ヤギの群れを導入し、自然な雑草駆除に役立てています。また、ヤギが提供する有機肥料が土壌に加わることで、さらに土地が改善されます。

また、潜在的な虫の蔓延を自然にコントロールするために、特定種のダニやてんとう虫を使った実験も導入しています。さらに、カビが原因の病気を防ぎ、土壌の栄養分を増やすために、土壌に有益な微生物を適用する試みも行っています。

SANTANOL

健康と安全：サンタノールの最優先課題

サンタノールは、問題が発生する前に潜在的な危険性を特定し、排除することを常に重視しています。親会社のマーサー・インターナショナル社が職場事故をゼロにするために確立した安全衛生概念「ゼロへの道」 を踏襲して、健康と安全を最優先しています。サンタノールは、労働安全衛生管理システム（ISO45001:2018）の認証も受けています。

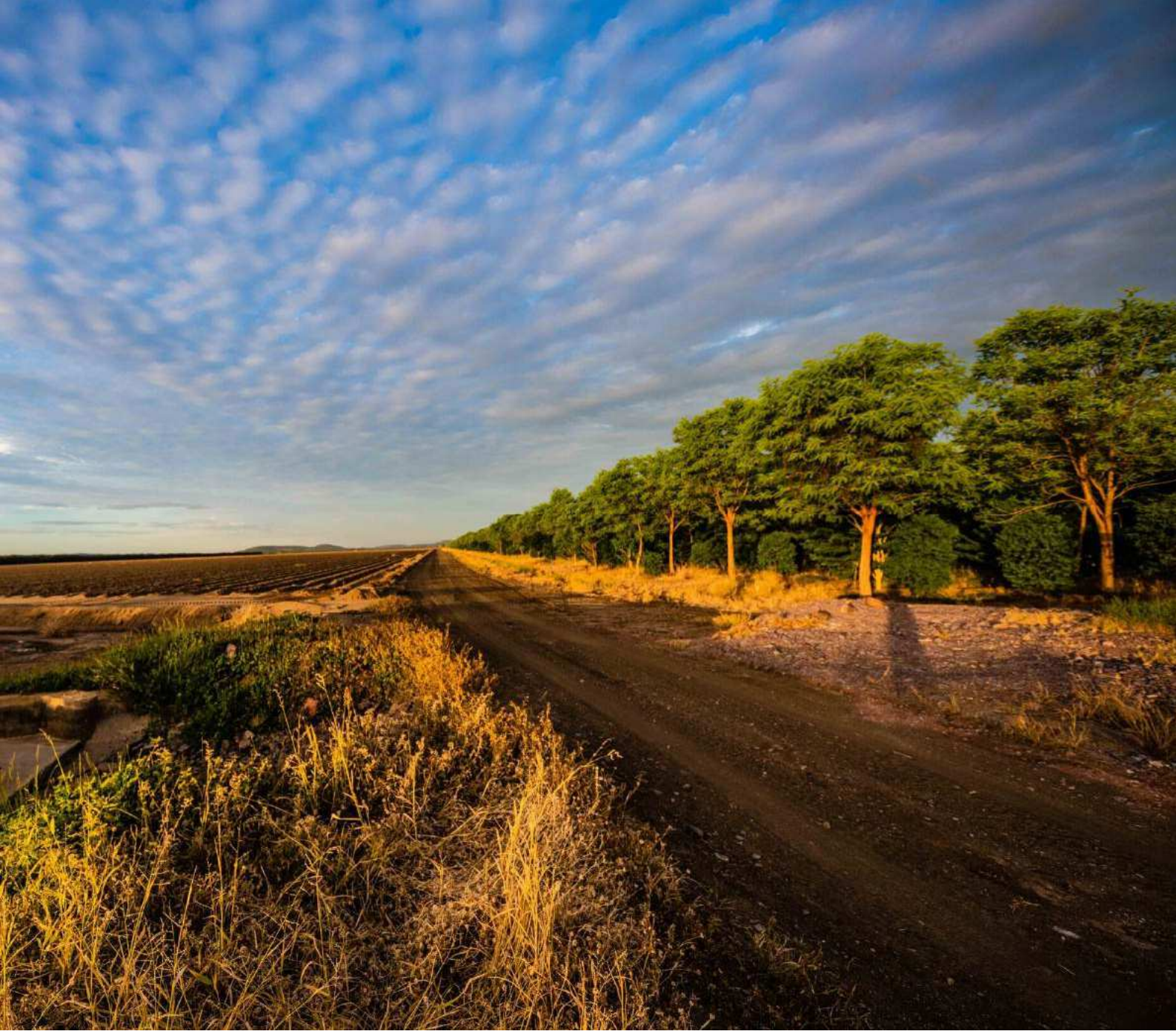
社会的責任を果たすために

オーストラリアの企業として設立されたサンタノールは、周囲の先住民族コミュニティの中で、この国のルーツを守りたいと考えています。地域の先住民コミュニティと共に事業を行い、彼らの伝統と知識を共有する機会を得られることは、当社にとって特権的なことです。

サンタノール社が自然と直接関わり合いながら事業に取り組むことで、その職場が地域の先住民の人々に受け入れられています。社内の文化的多様性の利点を大切にし、できる限り従業員をサポートします。

そのサポートの一環として、インスピレーションが沸く安全な環境で必要なトレーニングを提供するとともに、従業員の家族との交流も深めています。そしてお互いに情報を交換し、共通の目標を持って働く強い絆を築いていきます。

環境を守るために。



フットプリントの低減

サンタノールは、可能な限り二酸化炭素排出量を抑えるために対策を講じ、継続的な努力を惜しみません。例えば、当社の水蒸気蒸留プロセスでは、ボイラーに天然ガスのみを使用しています。また、河川の天然資源をさらに活用するために、水力発電所を建設し、地域社会に安定したエネルギー源を提供しています。

サンタノールは、
ピュアでエシカルな
サンダルウッドの生産に
取り組んでいます。

サンタノールは
このコミットメントの下に
常に改善しながら
成長を目指します。